地域社会と共に歩み

地域住民との良好な関係の構築

0000

各種活動で地域に貢献します

大林道路は、良き企業市民として社会文化の発展に寄与していきます。

●中国支店

山陽自動車道 岡山管内舗装補修工事

平成23年7月5日に備前IC ~和気IC間で単独の交通事故に伴う車両火災が発生しました。早期に交通開放するために、その事故復旧に協力しました。

各工区の施工前や施工中に、清掃活動を 実施。特に、SA·PAの施工の際は、こまめに 清掃を実施し、お客様に不快感を持たれな いように配慮しました。



平成23年度岡山東部保守工事

伐採・倒木処理などにより発生した雑木類をチップ化し有効利用すべく、農業用肥料転化を図っていたところ、カブトムシの幼虫を多数発見。地元小学校の要望もあり平成20年度より寄贈を開始しています。これらの活動により地域とのつながりが強化され保守工事に対する理解が深まることを期待しています。





●九州支店

北部アスファルト混合所にて職場体験学習

九州支店北部アスファルト混合所にて2日間、地元の基山町立基山中学校から職場体験学習として中学2年生の男子生徒2名を受け入れました。



●大阪支店

国道2号須磨鷹取電線共同溝工事

沿道で、雑草等が生い茂った植栽帯にて、 剪定や清掃などを実施し、地域の美化に努 めました。また、右折レーンにて、雑草が育ち すぎて交通の支障となる恐れがあるため、雑 草の刈り込みを行いました。



●四国支店

平成24年度 天神地区外舗装工事

現場事務所周辺の県道を毎週月曜日に清掃し、地域の美化に協力しました。

川内小学校に通う学童の通学路にある横 断歩道部で歩行者の誘導を行いました。







伏木富山港(新湊地区)道路(東西線)舗装工事(その1)

地元、堀岡地区のイベント「堀岡ふれあい七夕・行灯カーニバ

ル」に協賛し、売店コーナーとして出品。普段、 関連事業の工事で協力 していただいてる地元 の皆様とふれあい、コ ミュニケーションがとれ ました。



●中部支店

平成 23 年度紀勢線紀伊長島トンネル舗装工事

地域住民とのコミュニケーションとして、地元の水路清掃 活動に参加しました。工場現場より重機を搬入し、地元の方々 と協力して清掃を行いました。



●本店

交差点の交通誘導を実施

本店のある東京都墨田区 内白鬚橋東詰交差点におい て、春・秋の交通安全運動の 期間中、勤務開始時間まで 歩行者の誘導を行いました。



●北海道支店

北区南地区道路維持除雪作業

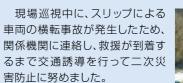


交通渋滞緩和のため、夜間に重機を使い、約150kmの道路を朝の通勤ラッシュまでに間に合うように除雪しました。降雪のない日は、路面整正・拡幅・排雪運搬・凍結路面対策などの作業を実施する他、12月~3月まで24時間体制で市民のみなさんからの要望・苦情を受ける除雪センターも開設して対応しました。

●東北支店

大船渡管内道路復旧その2工事

工事区間の施工範囲外の箇所に おいても、積極的に草刈り・側溝清 掃等を行い、道路の美化に努めま した。





●関東支店

常磐自動車道谷和原管内舗装災害復旧工事



つくば市で、行われる 『まつりつくば』 に協賛 し、祭りに参加しました。

四ツ木地区安全施設改修他工事

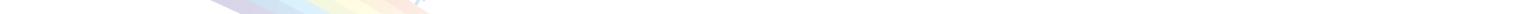
現場に隣接している公共施設(側道、公園)を清掃。地域の方から度々声をかけていただいた際に、工事概要を説明することで工事への理解をいただくことが











地球環境への配慮

地球環境と調和した企業経営に取り組んでいます。

地球環境に対し、「大林道路はどのように貢献できるか」を常に考え、実践しています。

環境方針

私たちは地球や地域を汚染から守るため、環境経営に取り組みます

- 法律や倫理に対して誠実な対応を行い、社会から信頼される会社を目指します。
- ②「もったいない」気持ちを大切に、資源の有効利用を目指します。
- **⑥ 当社の環境技術を広め、住みたい街づくりに貢献します。**

環境目標

原単位当たりのエネルギー使用量を前年度比1%以上削減する

監視測定結果

	部門名		内訳 (原油換算値)	2011年度	2012年度	構成比率	前年度比	寄与率
	オフイス部門		エネルギー使用量合計	-	851.8Kl	3.4%	_	2.7%
			床面積1㎡あたりの エネルギー使用量	28.0ℓ /mੈ	22.5ℓ /mੈ	_	80.3%	
	製造部門	アスファルト 合材	エネルギー使用量合計	-	20,271.2Ke	81.6%	_	82.1%
			製造1tあたりの エネルギー使用量	12.65ℓ/t	12.740/t	_	100.7%	
		再生骨材	エネルギー使用量合計	-	3,734.5K&	15.0%	_	14.2%
			製造1tあたりの エネルギー使用量	2.770 /t	2.61& /t	_	94.2%	
	部門計		エネルギー使用量合計	_	24,857.5K&	100%	_	99.0%*1

※1. オフイス部門と製造部門の異なる原単位の前年度比に構成比率を乗ずることにより算出した寄与率の合計で、2012年度は前年度比1%の削減 となり、環境目標を達成しています。

環境対応への手段

2005年12月に全店で環境マ ネジメントシステム (ISO14001) を認証取得し運用しています。





除染作業

福島第一原子力発電所 の事故により放射線に汚 染された地域環境を回 復するための除染作業を 行っています。



リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 会長賞を受賞

九州支店 熊本アスファルト混合所は平成24年リデュース・リユース・リサイク ル推進協議会会長賞を受賞しました。

本表彰は発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)に 取り組んで顕著な実績をあげた個人・団体等を対象としており、この度の受賞は 熊本アスファルト混合所における建設廃棄物の再資源化、太陽光発電設備・LED 照明・脱臭装置等の省エネルギー設備の導入および再生加熱アスファルト混合 物の啓発活動等が高く評価されたものです。



九州支店 大分アスファルト混合所

再生固形燃料を使用した 燃焼装置の導入

大分アスファルト混合所のリサイクルプラ ントでは、廃プラスチックや紙・木材等を固 めた再生固形燃料を使用して骨材を燃焼・乾 燥させる装置を試験的に導入し、石油燃料の 資源保護や燃費低減効果への貢献を行って います。今後は燃焼の際に発生した熱を他 施設の熱源として再利用するなどの試みも 含め、更なる環境保護に取り組んでいきます。





E-con(イーコン)

E-conは、リサイクル材を主原料とした環境 に優しい新しいコンクリート舗装工法の名称 です。

E-conの主原料はグリーン調達品目にも指 定されている高炉スラグ (水砕砂、粉末)とコン クリート廃材を粉砕して再生した骨材です。限 りある資源の節約に寄与し、CO2排出量の削 減にも有効である上、施工後に大気中のCO2 を吸着して硬化が進むという特性があり、温室 効果ガス対策に適したエコロジーな舗装です。





現場審査状況

18